

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ（１年次）【２単位】	
授業形態	実技・発表・創作及び鑑賞			
選んでほしい生徒	音楽についての知識を深めることや、歌唱や様々な楽器の演奏に興味があること。			
科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 日本の伝統音楽や西洋音楽などの知識を幅広く習得する。 楽器演奏や歌唱の技術を習得する。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【１学期】 北条高校校歌 斉唱・合唱 鑑賞（鍵盤楽器・独唱） 篠笛 【２学期】 斉唱 鑑賞（管弦楽曲） 篠笛・ギター リズムアンサンブル実技及び創作 【３学期】 斉唱・合唱 鑑賞（合唱曲・オペラ・民族音楽） ギター		・校歌を習得する。 ・中学校での内容を展開しながら、更に音楽の基礎を学習する。 ・篠笛・ギター・歌唱の演奏技術を伸ばし、様々な管弦楽曲の鑑賞により感性を高める。また、グループ活動を通して、創作活動に挑戦し作曲について学習する。 ・斉唱・合唱・鑑賞・ギターなどを通して、音楽に関する総合的な理解を深める。 ・１年間の学習のまとめをする。	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	・音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付け、創造的に表している。	・音楽の諸要素を知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度を総合的に判断して評価する。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 休まず授業に出席し、様々な楽器演奏や歌唱などを体験する。 演奏では自分なりの表現を大切にし、実技試験で発揮したい。 定期考査では、筆記試験も実施する。プリントは、ノートに貼って学期末に提出するのでノートの整理をしっかりと行うこと。 			
教材費	3, 485円（高校生の音楽Ⅰ 教育芸術社）（ミュージックノート・篠笛・篠笛の本）			
その他	<ol style="list-style-type: none"> 何かの検定につながることはない。 音楽大学受験のための学習とは違って、音楽を幅広く学習する。 			